

## 令和2年度第6回吹田市立留守家庭児童育成室運営業務委託事業者選定等委員会議事要旨

1 日 時 令和3年1月9日(土) 午後1時～午後3時

2 場 所 吹田市役所本庁舎高層棟4階 特別会議室

3 欠 席 なし

### 4 議事録(概要)

(事務局)

まずは、今回の委員会を開催する経緯を説明させていただきます。西山田育成室運営業務委託事業者を選定する二次審査につきましては、昨年の12月19日に開催し、各委員による採点を行いました。1名の委員の採点に対して疑義がございました。その内容としましては、一つ目、全項目において最低評価をしており、各項目に沿った評価を行っているとは読み取れないこと。二つ目、各項目の評価理由を読むと、プレゼンテーションやヒアリングを通して事業者の提案内容を理解しようとする姿勢が見受けられないこと。三つ目、採点合計を649点以下とした評価に対する理由書において、市が施策として進める留守家庭児童育成室運営業務委託スケジュールに対する批評を記載しており、当委員としての職務である応募事業者の提案内容を審査する業務について正しく認識しているとは言えないと推察されること。四つ目、これらの三つの点を踏まえて、一次審査の採点と比較したとき、二次審査を通して評価を大幅に下げた具体的な理由が見当たらないこと。五つ目、同事業者に対して審査を行った委員の評価結果の状況を踏まえると、他の委員と比較して異常に乖離した評価といえること。

以上のことから、当該委員の審査判断として、吹田市立留守家庭児童育成室運営業務委託事業者選定に係る評価項目と基準に基づく公正・公平な観点から審査した結果とみなすことは困難と考え、事務局から現行の選定基準の見直しを含めて、審議いただくよう提案し、12月22日に当委員会を開催し、審議いただきました。その結果、選定基準の見直しは行わないが、公正・公平な審議をする必要があることから、改めて二次審査を開催し、全委員による審議を実施することを、出席委員全員一致で決定されたところです。また、今回の二次審査に臨むにあたっては、各委員の皆様には委員としての職務及び公正・公平な観点からの評価姿勢を再認識していただいたうえで、出席していただいています。開催の経緯は以上となります。

本日の委員の出席状況ですが、委員全員に御出席いただいておりますので、選定等委員会規則の開会要件を満たしていることを報告します。それでは、今後の進行は委員長にお願いします。

(委員長)

それでは、第6回吹田市立留守家庭児童育成室運營業務委託事業者選定等委員会を開催します。まずは、本日の案件について、事務局から説明してください。

(事務局)

本日は、一次審査を通過した1事業者の二次審査、事業者によるプレゼンテーションと質疑応答、ヒアリング審査を行います。なお、プレゼンテーション・ヒアリング審査につきましては、委員長も質疑に参加されますので、事務局で進行させていただきます。

計65分以内のヒアリング審査を行いまして、事業者は退室されます。その後、採点をしていただきますが、その際、ヒアリング時の疑問等があれば、委員間で確認していただいて結構です。採点時間は30分ですが、必要であれば時間延長をさせていただきます。

採点合計が649点以下の場合、別紙の理由書に劣っている理由及び根拠を具体的に記載してください。その際は、各項目で評価した理由を明確に、判断基準や根拠など分かるように記載をお願いします。採点が終わられた委員は退席していただいて結構です。

続きまして、二次審査の評価項目と選定基準について説明させていただきます。お手元の資料2「委託事業者選定に係る評価項目と基準」の8ページをご覧ください。二次審査の通過基準につきましては、一次審査と同じく、「出席委員の半数以上から採点合計が650点以上」という基準に加えまして、「出席委員の採点合計の平均が650点以上」、さらに「評価項目3及び評価項目8の各審査基準において、出席委員の半数以上から「やや劣っている」以下の評価を受けていないこと」、また、「その他の評価項目において、出席委員の半数以上から「劣っている」の評価を受けていない」という基準としております。

次に、会計項目の通過基準につきましては、「採点合計が60点以上」かつ「各審査基準において、「劣っている」の評価を2つ以上受けていない」という基準としております。

最後に、選定結果は各委員に文書でお知らせさせていただきます。選定結果の応募事業者への通知につきましては、1月15日までに文書で通知する予定です。また、保護者の方全員に対しても通知を予定しています。

(委員長)

それでは、委員の皆様につきましては、再度申し上げますが、十分に委員としての立場を御認識していただいて、市民の皆様にも説明責任を十分果たせるように、公正・公平な立場で評価をお願いします。それでは、プレゼンテーションを行います。

### 【プレゼンテーション】

(事務局)

事業者からのプレゼンテーションが終わりました。これからヒアリング審査、質疑応答を行います。

### 【質疑・応答】

(事務局)

これより、西山田育成室、応募事業者の二次審査の採点をお願いいたします。ヒアリング時等の疑問などあれば、委員間で確認し合っていただいても結構です。それでは、お願いいたします。

(委員)

冒頭の二次審査を再度することになったことについて、委員長からも、選定委員としてしっかり選定するようおっしゃるのもその通りだと思いますが、就任時に選定委員の立場・認識などしっかり説明をしていただくべきだったということを改めて思いました。それに加えて、選定委員とはどういうものかという説明を事務局から文書を手渡したうえで、時間をかけて丁寧に説明をしていただく必要があったと思います。

(事務局)

事務局としても、委員の立場、職務内容を正しく認識していただくうえで、もっと丁寧に説明しておく必要があったと認識しています。

(委員長)

今の意見はとても大事なことだと思います。やはり委員としての立場をしっかりと把握したうえで、委員はこの場にはいないといけないと思いますし、立場で言えばいわゆる業務委託の政策そのものの是非をここで問う場所ではなく、その委託を受ける事業者として問題ないかといったことを審議する、そういった場だと思っています。そういう意味で、我々公正公平な評価に生かしていけたらと思っていますので、よろしくをお願いいたします。

(事務局)

それでは、採点をお願いします。

### 【採点】

(事務局)

委員の皆様、本日は長時間にわたりお疲れ様でした。それでは、本日の選定等委員会を閉会いたします。